

兵庫県保険医協会 神戸支部 職員接遇研修会のご案内

第1回

患者接遇の基本 ～笑顔と心遣いのコミュニケーション～

- 日 時 4月22日(土) 14:30～16:30
- 会 場 兵庫県保険医協会第1・2会議室
- 講 師 大手前短期大学 教授 水原 道子 先生
- 参加費 1人 1000円
- 定 員 80 名 ← **残席わずかです!**
(定員になり次第締め切らせて頂きます)

第2回

これだけは押さえない患者接遇の基本 ～クレーム対応も含めて～

- 日 時 6月10日(土) 14:30～16:30
- 会 場 兵庫県保険医協会第1・2会議室
- 講 師 マネジメントコンサルタント
松田 幸子 先生
- 参加費 1人 1000円
- 定 員 80 名
(定員になり次第締め切らせて頂きます)

※いずれも医療安全管理研修会の一環のため、受講者には受講証を発行

お問い合わせは、TEL078-393-1803 神戸支部担当：前川まで

兵庫県保険医協会

299号 2017年3月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

国保料引き下げ・軽減措置求める署名

2万3千筆を提出

次年度は軽減措置継続へ

神戸支部も参加する兵庫県社会保障推進協議会神戸市協議会（県社協）は3月10日、神戸市国民健康保険の保険料軽減特例措置の継続などを求める要請署名の第1次分2万2739筆を神戸市に提出し、同市保健福祉局高齢福祉部国保年金医療課の田月幸一係長が受理。保険料軽減措時例措置の次年度の継続を確認した。



神戸市（左）に2万筆の署名を提出する神戸市協議会職員

署名は神戸市が特例で認めている保険料軽減措置の継続や高すぎる国保料引き下げを求め、昨年10月から26団体が参加して市民に呼びかけたもの。協会神戸支部からは医師署名135筆、患者署名914筆の計1049筆が寄せられた。

昨秋から進めてきた国保署名運動は、学習会14回以上、街頭宣伝30回以上の取り組みが重ねられ、26団体から2万8千筆を超える署名が寄せられている。

市の特例措置は、国保運営の県単位化によって多人数世帯の保険料が引き上がるため、多人数の場合に所得から一定額を控除することを「当面の間」、認めたもの。提出した中川和彦

神戸市協議会議長は、特例措置の継続をあらためて求めたほか、保険料軽減措置の継続に必要な費用を明らかにするよう求めた。田月係長は、2018年度以降の方針については、「これから委員会で検討していただく」とし、会の要請に対しては「要望は伝えます」などとした。

国保の県単位化は、2018年度から実施予定で、政府が保険料計算などのシステムの普及を進めている。一部自治体では保険料が引き上げになるとの試算結果に、今でも高い国保保険料をさらに引き上げられるのかと、実施を懸念する関係者の声も出始めている。

神戸空港開港11年・抗議集会

負担を市民に押しつける運営権売却は問題

武村副支部長が神戸医療産業都市について講演



(上) 神戸医療産業都市の危険性を指摘する武村先生
(右) 60人の参加者が神戸空港に関わる問題点について学んだ



協会神戸支部も参加する「ストップ！神戸空港」の会と、神戸・市民要求を実現する会は、神戸空港開港から11年を迎えた2月16日、「開港11年・抗議の市民集会 運営権を売却するな！」を開催し、60人が参加。協会から武村義人副理事長が報告者として参加した。

「ストップ！神戸空港」の会の北岡浩事務局長が空港運営権売却の問題等について報告。運営権売却の実態は、神戸市が過去の債務を払い続け、負担を市民に押しつけるものと批判。ターミナルビル事業を運営権売却内容に含めるために、同ビルを市が買い取ろうとしていると紹介した。また、運営権者の選定についても、事実上関西エアポートグループ以外に、競争性や透明性が担保されないなどと指摘し、運営権売却の中止と、市民への説明責任を果たすこと

が必要と述べた。

武村先生（「ストップ！神戸空港の会」代表）は、神戸市が神戸医療産業都市に海外患者向けの窓口を設置しようとしていることを紹介。神戸空港を利用して海外からの富裕層を呼びこもうとしているとし、貴重な医療資源が市民ではなく海外の富裕層のために使われると警鐘を鳴らした。また、商品価値の高い先端医療開発を急ぐ中で、市民病院が研究で事故が起こった場合の救急受け入れや被験者の獲得に利用されていると解説した。

7月の県知事選挙で立候補を表明している「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」の津川知久代表幹事が連帯あいさつを行った。

同日には、神戸市役所前でもリレートークなどの抗議行動が行われ、アピールが採択された。

医療・介護の負担増 今こそストップ！

新しい署名にご協力ください！

新たな請願署名3万筆集めよう



署名用紙、リーフレット、ポケットティッシュ
ご注文ください！

負担増計画を分かりやすく解説したリーフレット（左）と、新たな署名用紙（右）

「心配です！さらなる負担増」—政府は国会に介護保険法の改定案などを提出しました。その中身は、70歳以上の患者負担限度額の引き上げや65歳以上の入院費用の負担増、後期高齢者の保険料引き上げ、介護保険サービス利用料の引き上げなど、医療や介護を利用する人の負担引き上げが目白押しです。協会・保団連は、政府の具体的な法案提出を受け、医療・介護の負担増中止を求める新たな請願署名に取り組んでいます。

兵庫協会では3万筆、会員参加率10%を目標としており、全国目標の10分の1を担います。昨年取り組んだストップ！患者負担増署名で

は、神戸支部の195医療機関から5082筆のご協力をいただきました。新たな署名にもぜひ、多くの先生方の協力をお願いします。

署名の裏面はキャラクターや簡単な図で患者さんにも今回の負担増計画を分かりやすく理解してもらえるものになっており、さらに詳しいことを知りたい方にはリーフレットも用意しています（上）。また、署名付きポケットティッシュも用意しています。取り組む期間は3月から国会閉会までの6月18日まで。ぜひ、ご協力ください。

署名用紙、リーフレット、ポケットティッシュ追加注文は、TEL078-393-1807まで。

神戸支部学習会のご案内

日本国憲法を考える(仮)

～緊急事態条項を中心として～

日時：5月13日（土）17時10分～19時 会場：協会6階会議室

話題提供：兵庫県弁護士会・元日本弁護士会災害復興支援委員会委員長

永井 幸寿 弁護士

お申し込み・お問い合わせは、TEL：078-393-1803まで